



消された二十六文字の謎

広報連絡委員 松本 圭司

野木町役場の敷地内にある公民館の右手前に「新築記念并頌徳碑」という大きな石碑があります。内容は、昭和10年4月開校の野木村青年学校（後に野木中学校）の新築の概要と寄付者美德の一端とを記したものです。

ところが、石碑文のうち、おもて面で23文字、裏面で3文字削り消されているのです。誰が何のために消したのか不可解です。

元の文字を知りたくて、いくつかあたってみましたが解りませんでした。

ある日、私の所属する「のぎまち史談会」の仲間数人で見た時に、消された裏面の文字は「奉安殿」ではないか、ということになりました。

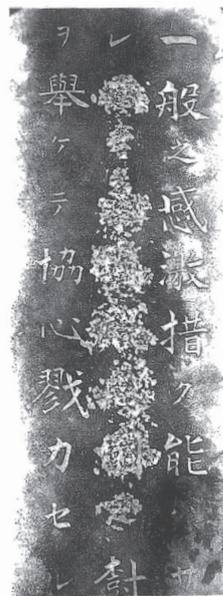
後日改めて解った事ですが、町役場の東隣にある星宮神社に「星宮神社沿革」碑があり、昭和21年11月、奉安殿を村より譲り受けて本殿にした、と刻まれていました。このことから裏面の3文字は「奉安殿」であることは、ほぼ間違いな

いのではないかとと思われます。

「奉安殿」とは、戦前の日本において、天皇、皇后両陛下の写真と教育勅語を収めていた建物です。しかしながら第二次世界大戦で日本が敗れ、「連合軍総司令部」の神道指令により昭和21年6月、文部省次官通牒によって全国の「奉安殿」を撤去する旨、具体的な指示が出されました。

この事と、石碑の削られた26文字とが関連していると思われます。恨みや、悪戯で削り消されたのではないと推測され、おもて面の消された23文字も関連していると思われ、「のぎまち史談会」で独自に解析を試みました。正しいのかは、原文がありませんので確認できません。従って、公表は控えさせていただきます。

皆さんも、興味がありましたら解析にトライしてみてもいかがでしょうか。



令和4年2月1日発行 広報のぎ2月号 掲載記事の訂正とお詫び

広報のぎ2月号26ページ広報連絡員レポートNo.429において、洗濯ハンガーの分別について説明が不足してありました。以下のとおり訂正し、お詫び申し上げます。

【訂正前】

尋ねたところ「不燃ごみ」でした。

【訂正後】

尋ねたところ、一部金属製で取り外せないため「不燃ごみ」でした。

ごみの分別については、町生活環境課環境リサイクル係☎(57)4246までお問合せください。

ゆ〜らんど(野木町健康センター) お知らせ

★3月のお風呂 温泉《西那須野温泉大鷹の湯》
…(男女露天風呂) 26日(土)・27日(日)

★毎週金曜日 かわり湯…季節の湯 【開館時間】10時～20時 ※酒類の持ち込み禁止

★新館にてフィットネススタジオを開催しています。(毎週木・金・土曜日)
トレーニングシューズをご持参ください。

★健康麻雀を開催いたします。1部：10時～13時 2部：13時30分～16時30分(毎週水曜日、第1・3・5日曜日)
※ゆ〜らんどに入館する際に入場料が必要になります。

都合により変更、臨時休館になる場合がございます。詳しくはお問い合わせください。

住所 野木町南赤塚1514
電話 0280(57)0755
指定管理者 宮ビルサービス(株)
休館日 火曜日